

2025.9.16

本部タワー敷地内の「しずぎんの森」が環境省の「自然共生サイト」に認定

しずおかフィナンシャルグループ（社長 柴田 久）では、このたび、「しずぎん本部タワー」敷地内の樹林地「しずぎんの森（静岡市清水区）」が環境省の「自然共生サイト（※）」に認定されましたのでお知らせします。

なお、地域金融機関グループの申請による「自然共生サイト」の認定は、山梨中央銀行の「山梨中銀ふれあいの里山」とともに初めての事例となります。

※地域生物多様性増進法に基づく生物多様性の維持等の実施計画の実施区域として認定された区域

「しずぎんの森」は、緑豊かで美しい都市景観を創出することをめざし、2014年の「しずぎん本部タワー」建設にあわせて敷地内に設けた樹林地です。在来植物を主とした森の緑地が広がり、生物の貴重な生息環境となっています。

2025年には、「しずぎん本部タワー」の屋上で希少猛禽類ハヤブサの繁殖活動を確認しており、本サイトの生物多様性を象徴しています。今回の認定は、このような生物多様性とその保全・回復への継続的な取り組みが評価されました。

しずおかフィナンシャルグループでは、2024年11月より「生物多様性のための30by30アライアンス（※）」に参画するとともに、当グループ所有地の整備・管理や地域における自然保全活動への参画・支援等を通じ、地域の生物多様性の保全・回復（ネイチャーポジティブ）に取り組んでいます。

今後も、「しずぎんの森」の生物多様性の保全活動を継続するとともに、ネイチャーポジティブ実現に向けた活動を強化し、社会価値の創造に取り組んでまいります。

※生物多様性の保全・回復に向けて、国際目標でもある「2030年までに陸と海の少なくとも30%を健全な生態系として効果的に保全すること（30by30）」を目指す有志の企業、自治体、団体によるアライアンス。自然共生サイトは、既存の保護地域との重複等を除き30by30の対象になります。

「しずぎんの森」



「しずぎん本部タワー」屋上で確認されたハヤブサ

